

2026年度
企画展示

日本交通学会賞 のあゆみ

交通経済研究所の歩みは、1941年に設立された
東亜交通学会（現・日本交通学会）に始まります。
以来、当研究所は学会事務局として、研究活動を支
えてきました。

このたび、東亜交通学会創立85周年、日本交通
学会および当研究所設立80周年を記念し、資料室
では企画展示「日本交通学会賞のあゆみ」を開催し
ます。

9.14 (月) - 12.18 (金)
10:00 ~ 16:30



〔会場〕 交通経済研究所資料室
JR・東京メトロ『上野駅』から徒歩3分



来室予約・お問い合わせはWebフォームをご利用ください



一般財団法人
交通経済研究所

交通経済研究所資料室

〒110-0005 東京都台東区上野 7-1-1

開室時間 10:00~16:30 / 休室日 土・日・祝日

<https://www.itej.or.jp/about> / TEL: 03-3841-4165



日本交通学会賞（著書の部）

	年度	書名	著者	出版社	発行年月
1	1968	交通労働の研究	佐竹義昌	東洋経済新報社	1966年6月
2	1969	現代日本の交通経済	佐波宣平	東洋経済新報社	1968年3月
3	1970	都市交通論（都市問題講座別冊1）	角本良平	有斐閣	1970年2月
4	1971	地方公営企業の研究	蔵園進	法政大学出版局	1970年11月
5	1971	物資輸送量の計測と予測	鈴木啓祐	交通日本社	1969年7月
6	1972	社会主義交通論	平井都士夫	汐文社	1971年4月
7	1973	海陸複合輸送の研究	飯田秀雄	成山堂書店	1973年1月
8	1973	鉄道運賃学説史 ―― 価格理論史としての一断面	丸茂新	所書店	1972年5月
9	1974	現代日本の交通政策	中西健一	ミネルヴァ書房	1973年5月
10	1975	海運論	東海林滋	成山堂書店	1971年2月
11	1976	帝政ロシア交通政策史	池田博行	西田書店	1976年3月
12	1977	海運経済論	織田政夫	成山堂書店	1975年7月
13	1978	海運産業論 ―― 船舶の技術進歩と海運業の構造	地田知平	千倉書房	1978年3月
14	1978	輸送計画の研究 ―― モデルと経済分析	小林清晃	所書店	1977年9月
15	1980	海上運賃の経済分析（研究叢書21）	下條哲司	神戸大学経済経営研究所	1980年3月
16	1981	アメリカ国民経済の生成と鉄道建設 ―― アメリカ鉄道経済の成立	生田保夫	泉文堂	1980年12月
17	1981	都市の経済分析	山田浩之	東洋経済新報社	1980年11月
18	1982	海運業の設備投資行動	宮下国生著、神戸大学研究双書 刊行会編	神戸大学研究双書刊行会、有斐閣（発売）	1981年4月
19	1983	貨物輸送の自動車化 ―― 戦後過程の経済分析	村尾質	白桃書房	1982年5月
20	1986	西ドイツ交通政策研究（商業学・経営学叢書4）	杉山雅洋	成文堂	1985年4月
21	1987	交通の計画と経営（日通総研選書） ―― 市場構造の変化への対応	武田文夫	日通総合研究所、白桃書房（発売）	1986年7月
22	1988	交通行動分析	近藤勝直	晃洋書房	1987年12月
23	1990	航空輸送（現代交通経済学叢書第7巻）	増井健一、山内弘隆	晃洋書房	1990年5月
24	1990	道路貨物運送政策の軌跡（日通総研選書） ―― 規制から規制緩和へ	谷利亨	日通総合研究所、白桃書房（発売）	1990年4月
25	1991	交通の未来展望（日通総研選書） ―― 21世紀は始まっている	角本良平	日通総合研究所、白桃書房（発売）	1989年10月
26	1991	現代交通論（シニアーズ・ガイド）	角本良平	白桃書房	1991年6月

	年度	書名	著者	出版社	発行年月
27	1992	交通市場政策の構造	斎藤峻彦	中央経済社	1991年10月
28	1993	近代日本交通労働史研究（鉄道史叢書7） ――都市交通と国鉄労働問題	武知京三	日本経済評論社	1992年9月
29	1994	日本の国際物流システム ――環境・基礎構造・展開過程	宮下國生	千倉書房	1994年5月
30	1995	発展途上国交通経済論	土井正幸	勁草書房	1995年4月
31	1996	近代日本海運とアジア	片山邦雄	御茶の水書房	1996年3月
32	1996	Japanese Urban Railways ――A Private-Public Comparison	水谷文俊	Avebury	1994年
33	1997	私鉄運賃の研究 ――大都市私鉄の運賃改定1945-95年	森谷英樹	日本経済評論社	1996年1月
34	1998	道路投資の社会経済評価	中村英夫編、道路投資評価研究会著	東洋経済新報社	1997年4月
35	1999	米国航空規制緩和をめぐる諸議論の展開	高橋望	白桃書房	1999年1月
36	2000	クルマ社会 アメリカの模索	西村弘	白桃書房	1998年7月
37	2000	アメリカ物流改革の構造 ――トラック輸送産業の規制緩和	齊藤実	白桃書房	1999年5月
38	2001	現代欧州の交通政策と鉄道改革 ――上下分離とオープンアクセス	堀雅通	税務経理協会	2000年4月
39	2001	EU陸上交通政策の制度的展開 ――道路と鉄道をめぐって	中村徹	日本経済評論社	2000年10月
40	2002	都市公共交通政策 ――民間供給と公的規制	正司健一	千倉書房	2001年5月
41	2002	バス産業の規制緩和	寺田一薫	日本評論社	2002年1月
42	2004	交通経済論の展開	衛藤卓也	千倉書房	2003年9月
43	2006	米国航空政策の研究 ――規制政策と規制緩和の展開	塩見英治	文眞堂	2006年4月
44	2006	交通混雑の理論と政策 ――時間・都市空間・ネットワーク	文世一	東洋経済新報社	2005年12月
45	2007	都市交通ネットワークの経済分析	竹内健蔵	有斐閣	2006年10月
46	2008	公共政策の変容と政策科学 ――日米航空輸送産業における2つの規制改革	秋吉貴雄	有斐閣	2007年1月
47	2009	対距離課金による道路整備（日本交通政策研究会研究双書24）	根本敏則、味水佑毅編著	勁草書房	2008年10月
48	2010	道路投資の便益評価 ――理論と実践	森地茂、金本良嗣編	東洋経済新報社	2008年11月
49	2012	日本経済のロジスティクス革新力	宮下國生	千倉書房	2011年2月
50	2013	通信と交通のユニバーサルサービス	寺田一薫、中村彰宏	勁草書房	2013年3月
51	2014	交通の時間価値の理論と実際	加藤浩徳編著	技報堂出版	2013年7月
52	2014	持続可能な交通への経済的アプローチ	兒山真也	日本評論社	2014年3月
53	2015	道路政策の経済分析 ――交通サービスの費用負担と市場メカニズム	後藤孝夫	同文館出版	2015年3月

	年度	書名	著者	出版社	発行年月
54	2017	競争促進のためのインセンティブ設計（KDDI総研叢書4） ――ヤードスティック規制と入札制度の理論と実証	原田峻平	勁草書房	2016年8月
55	2018	総合研究 日本のタクシー産業 ――現状と改革に向けての分析	太田和博、青木亮、後藤孝夫編	慶應義塾大学出版会	2017年7月
56	2020	日本の道路政策 ――経済学と政治学からの分析	太田和博	東京大学出版会	2020年6月
57	2021	地域公共交通の統合的政策 ――日欧比較からみえる新時代	宇都宮浄人	東洋経済新報社	2020年10月
58	2024	総合交通体系論の系譜と展開（日本交通政策研究会研究双書36）	杉山雅洋	流通経済大学出版会	2023年12月
59	2025	非対称競争下における競争戦略（阪南大学叢書131） ――寡占市場でLCCはいかに生き残ったのか	重谷陽一	文理閣	2025年2月
特別賞	2004	日本物流業のグローバル競争	宮下國生	千倉書房	2002年4月

日本交通学会賞（論文の部）

	年度	タイトル	著者	誌名	巻号	発行年月
1	1970	都市と交通と投資基準としての外部経済論	榊原胖夫	『交通学研究』	1969年研究年報	1969年10月
2	1971	中世後期地中海・北海海運企業史論究	松本一郎	『海事交通研究』	第6集	1970年6月
3	1972	道路と鉄道をめぐる社会的費用の問題 ー交通用役の生産構造からの一考察	中島勇次	『運輸と経済』	第32巻3号	1972年3月
4	1975	私鉄経営と運賃問題 ー大手私鉄を中心として	山口亮	『運輸と経済』	第34巻7号	1974年7月
5	1989	現代アメリカ鉄道研究序説	野田秋雄	『久留米大学商学部附属産業 経済研究所紀要』	第17集	1988年2月
6	2000	交通サービスの自発的供給は可能か？ ー理論的フレームワーク	湧口清隆	『交通学研究』	1998年研究年報	1999年5月
7	2000	中核国際港湾整備の効果と今後の方向	岡本直久	『運輸政策研究』	Vol.2 No.3（通巻第6号）	1999年10月
8	2001	株式市場に見る経済的規制の緩和による影響 ー航空産業を事例として	手塚広一郎	『交通学研究』	2000年研究年報	2001年3月
9	2001	英国バス市場における入札制度と契約	田邊勝巳	『交通学研究』	2000年研究年報	2001年3月
10	2002	費用便益分析再論 ーネットワークに焦点を当てて	城所幸弘	『交通学研究』	2001年研究年報	2002年3月
11	2002	交通環境負荷軽減のための経済的手法の比較検討 ーロードプライシングと燃料税	岡田啓	『交通学研究』	2001年研究年報	2002年3月
12	2003	道路投資評価における費用負担分析に関する一考察	味水佑毅	『交通学研究』	2002年研究年報	2003年3月
13	2004	米国都市交通資本整備に対するISTEAおよびTEA-21の効果と 評価 ーフレキシブル・ファンドの制度的枠組みを中心に	川尻亜紀	『交通学研究』	2003年研究年報	2004年3月
14	2004	運輸事業の規制緩和と経済厚生 ー道路貨物輸送事業を対象として	水谷淳	『運輸政策研究』	Vol.6 No.2（通巻第21号）	2003年7月
15	2005	交通手段選択行動におけるサービス属性の評価について	毛海千佳子	『交通学研究』	2004年研究年報	2005年3月
16	2005	産業連関表における自家輸送部門の修正 ー粗付加価値の導入による現実への接近	加藤一誠、太田和博	『交通学研究』	2004年研究年報	2005年3月
17	2006	低費用航空会社参入の経済効果と時間効果の計測 ー米国3社寡占市場のケース	村上英樹	『交通学研究』	2005年研究年報	2006年3月
18	2007	第三セクター地方鉄道の費用構造に関する計量分析	大井尚司	『交通学研究』	2006年研究年報	2007年3月
19	2008	交通アクセスを考慮した観光地の魅力度評価	鎌田裕美	『交通学研究』	2006年研究年報	2007年3月
20	2008	地域間道路の関連地域による連携的整備の一般均衡分析 ー居住地選択モデルへの拡張	福山敬、田村正文	『交通学研究』	2006年研究年報	2007年3月
21	2010	鉄道の上下分離に関する分析	黒崎文雄	『交通学研究』	2009年研究年報	2010年3月
22	2010	地域の自動車利用に対する費用負担に関する分析 ー燃料税に関する議論を中心に	鈴木裕介	『交通学研究』	2009年研究年報	2010年3月
23	2012	大都市高速鉄道の費用構造に関する分析	原田峻平	『交通学研究』	2011年研究年報	2012年3月
24	2013	米国航空産業における合併効果と低費用航空会社の運賃設定 行動 ーデルタ航空・ノースウエスト航空のケース	朝日亮太	『運輸政策研究』	Vol.15 No.4（通巻第59号）	2013年1月
25	2013	民営化が高速道路運営に与えた影響 ーDEAによる分析	木村真樹、赤井伸郎、倉 本宣史	『交通学研究』	第56号	2013年3月
26	2014	ソフトな予算制約問題と第三セクターのパフォーマンス ー運輸分野を対象とした実証分析	松本守、後藤孝夫	『交通学研究』	第57号	2014年3月
27	2015	日本の私鉄企業における多角化戦略の影響と効率性に関する 考察	宋娟貞	『交通学研究』	第58号	2015年3月
28	2015	道路に関連する投資配分の変更がマクロ経済に与える影響	高橋達	『交通学研究』	第58号	2015年3月

	年度	タイトル	著者	誌名	巻号	発行年月
29	2016	オープンスカイ協定とネットワーク形成モデル	米崎克彦	『交通学研究』	第59号	2016年3月
30	2016	Business connectivity, air transport and the urban hierarchy ー A case study in East Asia	松本秀暢、堂前光司、 Kevin O'Connor	『Journal of Transport Geography』	Volume 54	2016年6月
31	2017	The impact of aviation fuel tax on fuel consumption and carbon emissions ー The case of the US airline industry	福井秀樹、三好千景	『Transportation Research Part D: Transport and Environment』	Vol. 54	2017年1月
32	2017	鉄道の通勤混雑緩和対策の経済分析	松本涼佑	『交通学研究』	第60号	2017年3月
33	2018	ドイツの地域鉄道政策における「生存配慮」概念の意義	土方まりこ	『交通学研究』	第61号	2018年3月
34	2019	Transportation policy for high-speed rail competing with airlines	角田侑史	『Transportation Research Part A: Policy and Practice』	Vol. 116	2018年10月
35	2019	航空会社の市場支配力と費用の非対称性に関する分析	山本涼平	『交通学研究』	第62号	2019年3月
36	2020	アメリカ航空輸送産業におけるジョイントベンチャーと費用 効率性の関係	矢田部亨	『交通学研究』	第63号	2020年3月
37	2020	普通列車のグリーン車需要の価格弾力性の推定 ー Regression discontinuity designに基づいて	松本涼佑	『交通学研究』	第63号	2020年3月
38	2021	年金基金の空港経営への参加が与える環境パフォーマンスへの 影響	中村知誠	『交通学研究』	第64号	2021年3月
39	2021	Carpooling and drivers without household vehicles ー gender disparity in automobility among Hispanics and non-Hispanics in the U.S.	松尾美和	『Transportation』	Volume47 No.4	2020年8月
40	2022	鉄道駅開設による存在効果とその価値構成に関する分析 ー JR高崎問屋町駅を事例として	小熊仁	『運輸と経済』	第81巻第10号	2021年10月
41	2022	本邦LCCの参入は空港の効率性を高めたのか？ ー 包絡分析法を用いた効率性・生産性評価	安達晃史	『運輸政策研究』	Vol.23（通巻第79号）	2021年2月
42	2023	維持管理における近隣効果の分析 ー 橋梁のメンテナンスデータを対象に	中村知誠	『交通学研究』	第66号	2023年3月
43	2023	不採算バス路線に関する特別交付税措置の性質とその問題	山本卓登	『運輸政策研究』	Vol.25（通巻第81号）	2023年2月
44	2024	JRの輸送密度2,000人未満線区に関する考察 ー 輸送需要と運営形態に関する検討	那須野育大	『交通学研究』	第67号	2024年3月
45	2025	航空旅客輸送事業における機材編成と効率性	森山真稔、安達晃史	『交通学研究』	第68号	2025年3月